

同志社創立135周年記念ロゴマーク決定

法人部法人事務室

学校法人同志社は、2010年に創立135周年を迎えるにあたり、135年の歴史と伝統、さらに、200年の大計を目指す同志社の姿を広く社会に発信するため様々な記念事業および記念行事を予定しています。この度、この記念事業の実施期間を通じて使用する同志社創立135周年記念のロゴマークの公募を行いました。

その結果、小学生から社会人まで幅広い層から155件のご応募をいただきました。多数の方々からのご応募、ありがとうございました。

作品のコンセプトの内容としては、「知・徳・体の三位一体」、「キリスト教主義・自由主義・国際主義の教育理念」、「個體不羈なる書生」、「2ドルの精神」、「赤レンガ」といった同志社の特徴を巧みに取り入れたもの、デザインには、発展を「飛翔する鳥」に、未来への羽ばたきを「つばさ」に、より高い目標への挑戦を「積み木」に、希望への船出を「ワ

イルド・ローヴァー号」に重ねるといった趣向を凝らした多彩な作品がありました。

同志社創立135周年記念事業委員会における厳正な審査の結果、最優秀賞に国際中学校2年生飯岡利奈さんの作品、優秀賞に大学理工学部2年生久原拓也さん、国際中学校2年生三村由衣さんの作品が選ばれました。表彰者には、11月29日神学館礼拝堂で執り行われました創立134周年記念式において、同志社創立135周年記念事業委員会委員長の野本真也理事長からそれぞれ表彰状と副賞が授与されました。なお、小学生で唯一応募をされた福井ひかるさんには特別賞が贈られました。

創立135周年を迎えるにあたり、多くの人々により築きあげられた歴史と伝統への感謝の思いを、このロゴマークに込めて発信するとともに、このロゴマークが広く皆様により利用されることを願います。



最優秀賞
飯岡利奈さんの作品

女子大学、全国の大学で3番目、西日本で初！ 「国連グローバルコンパクト」に参加。

同志社女子大学は11月30日、「国連グローバルコンパクト（GCC）」に参加した。

「グローバルコンパクト（GCC、Global Compact）」とは、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに賛同する自発的な取り組みである。企業・団体が影響力のおよぶ範囲内で人権、労働基準、環境、腐敗防止の分野で核となる10原則を受諾し、支持し、遵守することが求められる。経済のグローバル化の裏で進む自然破壊や格差拡大を背景に、アナン前国連事務総長が1999年のダボス会議において提唱し、2000年に創設された。現在、全世界で約7,000の企業・団体が参加し、うち大学は339。日本では国際基督教大学、敬愛大学に続き3大学目、西日本の大学では初の参加となった。国連グローバルコンパクトの10原則は以下のとおりである。

- 人権
1. 人権の支持と尊重
 2. 人権侵害への非加担
 3. 組合結成と団体交渉権の承認と支持
 4. 強制労働の排除
 5. 児童労働の実効的な排除
- 労働基準

環境

腐敗防止

6. 雇用と職業の差別撤廃
7. 環境問題の予防的アプローチ
8. 環境に対する責任のイニシアティブ
9. 環境にやさしい技術と開発と普及
10. 強要・賄賂等の腐敗防止の取組

この参加によって、国連が発信する国際情勢についての情報等がいち早く入手できるとともに、国連GCC10原則を支持・遵守するための具体的な施策を検討し、実施することによって、大学としての社会的責任を果たし、環境問題をはじめ国際社会の持続的発展に貢献していきたいと考えている。

本学は教育理念の一つに国際主義を掲げており、現代社会学部社会システム学科には国際理解コースを設置し、また在学生全員が1年間の留学を経験する国際教養学科を2007年に開設するなど、グローバルな視点をもち、国際社会で活躍する女性の育成を目指している。



薬物乱用防止を訴える学生製作ポスター

大学学生支援センター今出川校地学生支援課

昨今、大麻や覚せい剤の所持・使用事件が相次ぐなど、薬物汚染が日本社会に深刻な広がりを見せていることが明らかとなりました。警察庁の調べによると、今年（2009年）上半期（1月～6月）の大麻摘発件数が、1991年以降最多となり、その中でも憂慮されるのは、大麻絡みの事件で摘発された件数のうち85%が初犯で、63%が20代以下という数字が表す薬物乱用の低年齢化です。本学においても、薬物乱用防止のための恒常的・経常的かつ組織的な啓発活動が、喫緊の課題となっています。

このような背景のもと、去る2009年7月、薬物乱用防止の啓発活動の一環として、本学文化系公認団体に對し、啓発用ポスターデザイン

の募集を行いました。募集の結果、4団体から7作品の応募があり、次の通り受賞作品が決定しました。

■最優秀賞（1点）

受賞団体…広告研究会

■優秀賞（1点）

受賞団体…能楽部狂言会

■入賞（5点）

受賞団体…クラマ画会（2点入賞）

学生新聞局

広告研究会

能楽部狂言会

最優秀賞・優秀賞に選ばれた作品については、本学の薬物乱用防止公式ポスターとして採用し、大学の広報ツールとして様々な場面、機会で活用することとなりました。

【優秀賞】



【最優秀賞】

